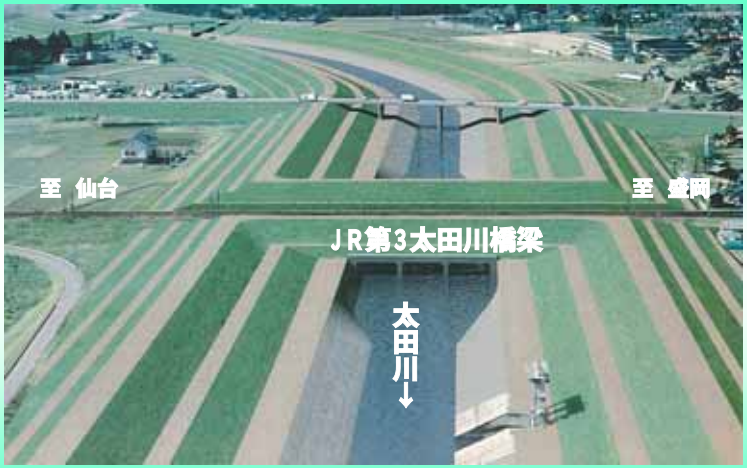
「公共工事コスト縮減対策に関する新行動指針」
【 施策名： (2) 工事の時間的コストの低減（Ⅱ）　】

特定構造物改築における重点整備・事業期間短縮によるコスト縮減

工事名：ＪＲ第３太田川橋梁改築事業（北上川上流）
概　要：ＪＲ第３太田川橋梁について、事業の重点化・集中投資により、事業期間を４年短縮しました。

効　果：
●橋梁形式では変更する鉄道敷がＪＲ平泉駅構内まで影響するなど事業規模が大きくなることから、現在の鉄道敷高さを変えない計画に変更し、その後重点集中投資により事業期間を４年短縮することができました。これにより、太田川流域の家屋浸水被害や農地の浸水被害の防止効果を４年早く得ることができました。４年分の事業便益は工事コストに換算すると約12億円になります。

◆４年間の事業期間短縮により、12億円の縮減効果が得られます。



当初計画
・橋梁形式
・事業期間～Ｈ１９

○4年短縮

実施内容
・遮水壁土堤方式
・事業期間～Ｈ１５

◎4年早く得られた被害防止効果による大きな事業便益